

第342回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

- 1 開催日時 平成29年10月23日(月)午前11時00分より
- 2 開催場所 テレビ新潟 会議室
- 3 委員総数 8人 出席委員 7人

出席委員

豊口 協	委員長	大矢 純一	副委員長
山本 健一	委員	中島慎一郎	委員
原田 健一	委員	田村 明子	委員
柳川かおり	委員		

会社側出席者

取締役会長	室川 治久
代表取締役社長	務台 昭彦
常務取締役 編成担当	竹石 尚史
取締役報道制作局長	永田 広道
編成局長兼番組審議会事務局長	増子 隆
報道制作局制作部長	羽田 朗
報道制作局 合評番組プロデューサー	鈴木 英門
事務局	山崎 学 吉田 康宏

4 議 題

1) 番組合評

「新潟一番ガタトピSPECIAL

躍進！NGT48“新潟から全国へ”少女たちの2年」

〔放送：平成29年7月30日（日）16:55-17:25〕

（説明：番組プロデューサー 鈴木 英門）

2) 会社報告

①9月の視聴者の意見（報告：番組審議会事務局）

②講じた措置、公表など定例報告等（報告：番組審議会事務局）

3) その他

5 審議の概要

会社側からAKBグループ「NGT48」の結成から2年間の軌跡と躍進を、新潟の新しいブランドとして伝えるべく、企画制作したと説明があった。また、毎週月曜から金曜に夕方に放送中の自社制作情報番組「夕方ワイド新潟一番」で新潟のトピックスを扱うコーナー「ガタトピ」にて扱った、NGT48の地域密着を標榜しながら取り組んでいる姿を再編集して紹介することは、先般開催されたAKB選抜総選挙においてNGT48のメンバーが上位ランクインを果たしたタイミングが望ましいと考え制作した、という説明があった。

（委員の意見）

- あまりNGT48を知らなかったもので、メンバーの構成など全体像が見えないまま番組が進んでしまった。
- 劇場での活動風景も見てみたかった。

- 一般的なNGT48を知らない視聴者に対してこの手の番組を作る意義はあったと思う。但し、知らない人にとっては番組構成の順番が入り組んでいて分かりづらかったのではないかなと思う。
- 今を一生懸命生きている若者がいるのだと思った反面、努力している姿が、いまひとつ描き切れていなかったと思う。
- NGT48ファンに向けて作られていた番組であるならば、問題ない番組であったと思う。但し、一般の人にも興味を持てるように工夫して作っても良かったのではないかな。
- NGT48の成り立ちなどがコンパクトにまとめられていて分かりやすかった。
- 新潟の社会現象の一つとしてNGT48を取り上げた番組を地方局が制作したことは意義のあることだと思う。NGTメンバーを追いかけるテーマも良いが、彼女たちを取り巻いているビジネスの世界に注目した裏側の世界もテーマとして取り上げてみてはどうかと思った。
- 番組タイトルの「躍進」について、選抜総選挙でNGT48のメンバーが躍進した理由を深く掘り下げて欲しかった。例えばチームをまとめて引っ張っている北原キャプテンの頑張っている姿などを追いかけても良かったのではないかな。
- 7.5%の視聴率が取れたということは、ファンに受け入れられた番組だったのだと思う。
- 新しい時代のアイドルというものを考えさせられた番組であったと同時にNGT48がファンによって支えられていることが見て取れる番組だった。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

9月 …… 130件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会(平成29年9月25日)から、昨日(平成29年10月22日)まで、総務省に届け出た訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回第341回審議会では、「TeNY報道特番 記憶 その先へ 中越沖地震から10年」を審議いただきました。委員の意見は議事概要にて記者制作スタッフ、社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員・スタッフに回覧しました。

8 今回の第342回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支社の県内事業所に議事概要の書面を準備しています。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) TeNYホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・9月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・民間放送新聞(9/23、10/3、10/13号)
- ・BPO報告(N0.179)

以上